

《企業紹介》

同社はベトナムの大手空運サービス企業である。ベトナム国内発着便の運航便数シェアは 43%でトップ(2024 年 1-5 月期)となっている。2007 年にマレーシアの LLC (格安航空会社) であるエア・アジアとベトナム現地資本の合弁により設立され、ベトナム政府の外資規制方針によりエア・アジアが資本を引き上げた後の 2011 年 12 月から事業を開始した。価格の安さだけではなく、ベトナムの国内外の航空旅客輸送ネットワーク開拓に注力し、ベトナム人にとって航空旅客サービスをよりポピュラーな移動手段にすることをミッションに掲げている。

《2025 年 4-6 月期業績》

2025 年 4-6 月期の売上高は前年同期比 10.1%増の 17.8 兆 VND (ベトナムドン) だった。国内線収入が同 19.3%増の 4.9 兆 VND、貨物・付帯業務収入が同 18.9%増の 6.8 兆 VND と好調だったが、国際線収入は同 3.1%減の 3.0 兆 VND、チャーター便収入が同 10.7%減の 1.4 兆 VND と不振だった。航空機等売却収入は同 45.6%減の 4,285 億 VND だった。

粗利益率は同 1.1%ポイント上昇の 13.5%となったため、粗利益は同 20.3%増の 2.4 兆 VND となった。航空機等売却益は同 75.7%減の 1,531 億 VND へ大幅に減少したが、旅客運送事業の採算改善が進み、同事業の粗利益が同 55.1%増の 1.6 兆 VND に拡大したことが貢献している。特に国内線で、利用客数の増加などによる旅客運送事業の収益性改善が進んでいるようだ。

営業利益は同 243.9%増の 7,548 億 VND となった。粗利益の増加に加え、営業費用が同 7.1%減の 1.6 兆 VND となり、営業利益は大幅増となった。営業費用の減少は、前年同期に計上した貸倒引当金 3,739 億 VND がなくなったために一般管理費が同 29.9%減の 4,685 億 VND と大幅に減少したことによってもたらされた。このほか、金融費用は同 11.2%増の 5,789 億 VND、販売費も同 2.6%増の 6,158 億 VND と抑制的だった。税引前利益は、営業外損益が悪化したため同 151.5%増の 8,149 億 VND となった。税引後利益は、課税負担の増加によって同 121.4%増の 6,524 億 VND となった。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	16,238.0	-2.2	18,164.2	27.6	19,796.8	35.6	17,952.2	0.9	17,885.3	10.1
粗利益	2,008.7	180.3	2,202.5	77.5	1,010.1	黒字転換	2,403.7	37.7	2,417.0	20.3
(粗利益率%, %ポイント)	12.4	8.1	12.1	3.4	5.1	8.5	13.4	3.6	13.5	1.1
営業費用	1,789.2	140.1	1,520.4	46.3	1,022.4	-	1,578.4	31.2	1,662.1	-7.1
(金融収支、マイナスは受取超過)	520.5	461.0	842.4	253.2	-130.1	-	737.2	107.1	578.9	11.2
(うち販売費)	600.1	45.2	695.4	12.3	644.7	29.6	567.7	-13.6	615.8	2.6
(うち一般管理費)	668.5	179.5	-17.4	-	507.4	-2.8	273.5	44.1	468.5	-29.9
営業利益	219.5	黒字転換	682.1	238.9	-12.3	赤字縮小	825.3	52.2	754.8	243.9
税引前利益	324.0	9,906.8	760.3	282.9	108.4	-32.8	836.4	23.7	814.9	151.5
税引後利益	294.6	黒字転換	571.6	463.9	23.4	4.3	640.5	19.4	652.4	121.4

注 監査済み決算をもとに四半期決算の数値を調整しており、一部過去のレポート記載の数値と異なる場合がある
出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトジェットエア (VJC)



《株価の推移》

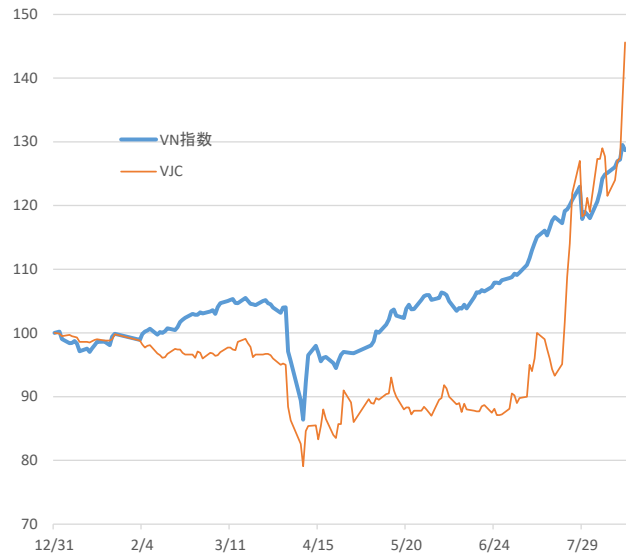
同社の株価と VN 指数を、2024 年 12 月終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価のパフォーマンスは、7 月中旬までは VN 指数のそれを下回って推移しているが、その後急速にキャッチアップし、8 月以降はアウトパフォームに転じている。8 月 15 日終値の 2024 年末比上昇率は VN 指数が 29%、同社は 46% となっている。また、8 月 15 日終値 145,600VND で計算した同社の時価総額は 78.8 兆 VND となっているが、この水準は 2024 年 12 月期の税引後利益 1.4 兆 VND の 56 倍となっている。

ベトナムの良好な経済環境や、ベトナムを訪れる外国人の増加などを考慮すると、旅客運送事業の業績の拡大ペースが投資家の期待に沿って

なかったことが株価パフォーマンスの低迷要因だったとみられるが、2025 年 4-6 月期実績はそのような懸念を払拭するような内容だった。このことが株価パフォーマンスの急速な改善に繋がっていると考えられる。同社の 2025 年 12 月期会社計画は、売上高が前期比 13.4% 増の 81.6 兆 VND、税前利益が同 20.7% 増の 2.2 兆 VND となっているが、2025 年 1-6 月累計実績の計画に対する進捗率は、売上高が 44%、税前利益が 75% となっている。売上高の進捗は計画通りといったところだが、税前利益の進捗は良好で、採算改善は会社計画を上回って進捗していると推測できるだろう。

ベトナムの道路や鉄道などの交通インフラは脆弱であり、今後も空運の果たすべき役割は大きい。また、ホーチミン市郊外に 2025 年に開港するロンタイン国際空港の工事が進んでおり、航空インフラの拡大が同社にとって大きなチャンスをもたらす可能性がある点には引き続き留意する必要があるだろう。

図表 2 株価推移



出所 Investing.com のデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。